



ふなはし

議会だより

No.18/6月議会号

平成29年7月26日発行

本会議場



議長あいさつ

川崎 和夫



このたび、議員各位のご推挙により議長に就任いたしました。

身に余る光栄に存じますとともに、心より厚く御礼を申し上げます。議長として果たすべき責任の重さと使命の大きさを痛感しております。

今、地方議会は「開かれた議会」としての在り方が注目されております。当議会においても三月から常任委員会を公開し、また九月定例会からはインターネットを活用しての中継が始まります。多様化する住民のニーズに応え、舟橋村の発展と村民の福祉の向上のため職責を果たしてまいります。

村民の安全・安心と、そして住んで良かったと思われる村づくりのため今後とも全力を尽くしてまいります。

議員各位及び村当局、村民各位のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

**開かれた議会を目指し、
9月議会から、インターネット
中継が始まります。**

- 議長あいさつ 1
- 村政を問う～6月定例会報告～ 2～5
- この施策はどうなる !!
～常任委員会質疑応答～ 6～7
- 6月議会審議・採決結果・あとがき 8

現況と意見

村政を問う

問 高齢者の交通対策について問う
答 効率性並びに利便性の高いサービスの検討を進めていく

議員 田村 馨



問 日本の高齢化社会の進行は、世界でも飛び抜けており、高齢者ドライバーの交通事故が大きな問題となっている。高齢者ドライバーによる交通事故はここ10年間で、65歳以上のドライバーによる事故は15倍、75歳以上のドライバーによる事

故が2.2倍とふえ続けている。

舟橋村には公共交通として富山地方鉄道の本線が通っているが、特に住民の利用も多い総合病院は、ほとんどが駅から離れた場所に立地している。手段として舟橋から富山まで電車で行き、そこから路線バスに乗り換えて目的地の病院に向かうのがほとんどと聞く。しかし健康状態などにより、バス停までの数百メートルを歩く事が困難な方、座る場所のないバス停で、暑い夏や寒い冬のバスを待つ事も考えれば、タクシーを呼んで自宅から出かける方が安心・安全である事から、車を持たない高齢者世帯ではタクシー利用が多く

なるのが現状である。また冬期間の徒歩での外出は、高齢者にとっては危険を伴う。そのような環境の中、特に病院への通院などの外出の際は、ほとんどがタクシー利用になり、少しでも負担を軽減する必要がある。

そこで高齢者の交通対策として、高齢者の外出支援タクシー助成制度を新たに取り入れるべきではないか。

例えば高齢者へのタクシー助成条件として、車を持たない高齢者世帯であり、対象年齢や所得・助成金の金額など、さまざまな条件があるが、このよう



な助成制度ができれば、高齢者の外出支援にもなり、運転免許の自主返納者もふえ、高齢者の交通事故対策にも繋がる。村当局の考えを問う。

答 生活環境課長 現在、我が国は超高齢化社会に突入しており、年金、医療、介護などの社会保障制度の問題に加え、高齢者の居住環境に係るサービスの拡充が求められております。

本村には、日常の買い物が出来るとドライバーや高度な専門医療を行う医療施設等がなく、隣接の富山市や上市町・立山町への要望が高くなっております。

この状況から本村では、高齢者の村外へ交通手段の支援施策といたしまして、平成22年7月より、65歳以上の方が運転免許証を自主返納した

場合に月額4,000円を5年間支給する「高齢者運転免許自主返納者生活支援事業」を実施しております。

この制度の利用者は、これまでの延べ人数が41人で、現在は24人ですが、今後、増加するものと推測しております。

一方、平成26年4月より、舟橋村社会福祉協議会では、ホームヘルパーによる生活上の困り事を支援するファミリーサービスを拡充しまして、日常的な買い物代行を行う等の「生活支援サービス」や運転ボランティアによる「外出支援サービス」を実施しております。利用者数もサービスを開始した平成26年度の48人に対し、平成28年度には223人となり、サービスの利用ニーズは着実に高まっています。

本村では、行政区域内に多くの商業施設が

存在する自治体と異なり、高齢者の村外ニーズが高いことに加え、ニーズも多様化している現状を踏まえて、今後対応を検討してまいります。

また、サービス提供における利用者の範囲等につきましても、免許証や車を所持しない高齢者に加え、障害者のいる世帯や介助が必要な方への配慮も必要であると考えておりますので、十分な調査研究が必要であると思っております。

今後、時間を要する課題ではありますが、高齢者等への交通支援事業は、本村にとりまして重要な福祉サービスの施策となりますので、今後、先駆的事例の調査研究と同時に本村の社会福祉協議会とも連携・協調を図りながら、効率性並びに利便性の高いサービスの検討を進めてまいります。

問 竹内天神堂古墳を含めた歴史的資産の保全保護等の方針を問う
答 生涯学習の場として有効に活用していきたい

石原英前議員



触れてもらう為にも、そしてその価値を高める為にも、なんらかの手立てが必要と考えます。

駅前公園を造成するにあたって、地元住民からは、公園の利用者を含め周辺を散策する人の為の公衆トイレ等、周辺整備については今後どのように考えておられるのか？その後の検証は行われているのか？

問 舟橋村で唯一「立山・黒部ジオパーク」に認定をされております竹内天神堂古墳ですが、今後村としてどのように保護・保全を行って行こうと考えておられるのか？
立山・黒部ジオパークのパンフレットにも竹内天神堂古墳も紹介をされておりますが、舟橋村の歴史・文化に



舟橋駅前公園

答 生活環境課長 駅周辺は公園や周辺道路が整備され、まさに村の歴史、文化ゾーンとしての環境が整ってききました。

村民をはじめ多くの方々が、地域の魅力を知りジオパークの活動のテーマである「自然や環境の保全」に努め、後世に伝えていくことは大きな責務であると考えています。

現在、竹内天神堂古墳に対して、神明社の氏子さんはじめ地域住民の皆さんが、常日頃、環境保全に努められ、併設された公園を含めたジオサイトでの地域おこしにも活用していただいております。村の玄関口の活性化につながっております。なお、公衆トイレ、駐車場、駐輪場設置については、現在の所、近隣の施設を共有するという形で理解していただきたいと思います。

次に、竹内天神堂古

墳の案内板については、近々に設置する予定です。なお、案内板の設置については、竹内天神堂古墳だけでなく、他の場所についても、調査・研究の組織を立ち上げ、場所、内容等について具体化していきたいと思っております。村史にも詳しく記述がありますが、村にはたくさんの遺跡群が存在し、弥生時代から近世までの遺構や遺物が、多数発見されています。その一部が舟橋会館で展示されていますが、多くは富山県埋蔵文化財センターに保管されているのが現状で、これらの貴重な出土品などについては、身近な場所での常設展示が実現されれば、さらなる村の魅力発信になるうかと思っております。このことの必要性は重々承知しており、展示場所、展示方法などについては、

引き続き検討してまいります。

新設の見通しがないのであれば、今ある施設の活用例えば移転後の保育所や空き家などのスペース活用の可能性など、あらゆる方策を多角的に検討して、実現に向けて取り組んでいきます。

また、今後ともジオサイトの保全・保護、また遺跡など、歴史的価値のある品々の保全・保護のために、最善の方法を取っていくと共に、それらを学校教育の場、生涯学習の場としても有効に活用していきたいと考えております。



竹内天神堂古墳

問

舟橋村創生プロジェクト総合推進会議と常願寺川公園スポーツクラブとの連携を問う

答 スポーツ施設の活用を図る

常願寺スポーツクラブが地方創生推進会議に加わって以降、舟橋村でのスポーツ地方創生について会議や意見交換等がなされてきているのか？

また地域貢献のモデルケースになるようにも言っているが、モデルケースになるような提案等もこれまでに何かあったのか？

これまで、常願寺川公園スポーツクラブ単独で会員の募集等も行っているとも聞きますが、舟橋村の子供は何人加入しているのか？
2つの総合型スポーツクラブが村内で活動している事になるが、対象年齢が競合するなどの課題もあり、双方のクラブや関係団体等の話し合いの場が必要と思うが、それに関する窓口となるのは、地



常願寺川スポーツ公園

方創生を一環とする、推進協議会なのか、舟橋村総合型スポーツクラブを所管する教育委員会なのか？

常願寺スポーツパークのクラブハウスが完成すれば、地元スポーツクラブの利用、スポーツに関する講習会

や会議、コート使ったの行事等を行うことにより、舟橋村内にある施設としての価値が上がると思いい今後協議して頂き、これに関する予算措置をお願いしたい。

答 教育長

舟橋村の生涯スポーツに取り組んでいる舟橋村総合スポーツクラブ「バンドリー」の活動を支えていくことは勿論の事で

ですが、常願寺スポーツ公園高平メモリアルパークも「スポーツの力で地域を元気に」と地域貢献をうたっており、今後クラブハウスが建設され、多様な使用方法を提供してくれるものと期待しております。

常願寺スポーツクラブならではの村民を対象とした各種イベントの実施や村の各種イベントへの人材の派遣などがあれば、村民の皆さんが、「高平メモリアルパーク」の存在を価値あるものと評価し、活用の幅も広がってくるのではないかと思います。必要があれば、教育委員会としても広報活動などに協力し、常願寺スポーツクラブでの活動を推進していきたいと考えております。



問

個人番号カード取得状況・義務化の考えを問う

答

マイナンバーカードの普及促進を図る



森 弘 秋 議員

問 「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が制定、「マイナンバー法」とも呼ばれ、平成24年10月頃には、マイナンバーと呼ばれる個人番号を通知し、平成27年1月からカードを配布すると国民に呼びかけ、通知カードの配達状況についても、平

成27年12月までに、文書で全ての所帯に配布済。運用については、平成28年1月から始まり、本村においても同月13日から、県内自治体のトップを切って番号カードの交付が始まり、同法には、住民基本台帳に登録されている者に対し、その申請により、その者に係る個人番号通知カードにより通知しなければいけないと明記されている。

制度の概要は、行政の効率化、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤であると定義されている。

経済財政諮問会議は、行政の効率化に向け国民の「マイナンバーカード取得」を促すべきだとして、取得の義務化も視野に入れ

て、抜本的な対策を取り組むよう政府に提言した。

それでは、国における交付率は、平成29年3月時点で8・4%。富山県は、平成29年5月31日時点で、8・4%であります。

交付申請を促す対策として、広報掲載、確定申告時に交付申請案内等、いろいろ工夫されているが、余り効果は期待できなかったとのことである。

さて、舟橋村は、これまでどんな対策をしてきたのか？交付申請を促すための手段として、平成27年10月号で「マイナンバー制度について」と題して、「通知カードQ&A」等が説明され、平成28年1月号で、「個人番号カードの申請から交付まで」「住所の変更などの際は、カードを提出してください。」などが説明されている。平成29年2月号では、確定申告の案内の中

で、「マイナンバーの記載と番号確認書類として、個人番号カードの提示が必要です。」と記載しているだけである。将来の義務化も念頭に置きながら、その必要性を訴え、前途を見据えた、村当局の考えを問う。

目的で、平成28年1月からマイナンバーカードの交付が始まりました。

マイナンバーカードの普及促進を図るため、村では平成28年1月及び2月の土日祝日にカード交付窓口を開設し、1月は17



マイナンバーカードを受ける様子

枚、2月は9枚交付いたしました。また「広報ふなはし」でマイナンバー制度のPRを行なうとともに、窓口業務で、運転免許証等の身分証明書をお持ちでない方に、公的身分証明書となるマイナン

副村長 マイナンバー導入経緯につきま

しては、国の縦割り行政の現状を改めるため、社会保障・税・災害対策の3分野で個人情報の一元化を図る

バーカードの申請を勧める対応を行っております。

先月末現在の交付枚数は205枚。普及率は6・7%、国平均8・4%、県平均8・2%を下回っている状

況です。

現在、村でマイナンバーカードを利用できないのはe-taxによる確定申告時の電子証明書の役割のみとなっております。交付率の低さの原因は、各人の生活スタイルにもよりますが、カードの利便性が低いことが一因と推測されます。経済財政諮問会議でも民間議員からの交付率の低さに対する意見が出され、担当大臣である高市総務大臣は、「改善

に向け今年3月に「マイナンバーカード利活用推進ロードマップ」を作った取り組みを公表していく」と発言されております。

村では自宅からオンラインで手続きができ、忙しい若者世代のサービスマン向上に繋がる「子育てワンストップサービス」を調査研究の上、できれば導入したいと考えております。また住民票、戸籍等の証明書のコンビニ交付も役場窓口に出

向かず最寄りのコンビニで取得可能となり利便性が高いのですが、システム導入に約1,000万円。年間の維持費用に約100万円必要と試算しております。今後皆様方のご意見をいただきながら、また周辺自治体の動向をも調査し検討して参りたいと考えております。

コーヒーブレイク

雑草に遊ばれている。

梅雨時の草は勢よく伸びる。

よくもまあこんなに早く伸びるのか？

人の心も知らないで！

ある日、あるとき。

草をむしっておられるご婦人にお目にかかった。

「こ精がです。しかし、本当によく伸びますね。」

「ほんと、よく伸びます。草に遊ばれていますよ。」

といいながら、庭の草をむしっておられる。

実に気持ちの良い言葉が返ってきた。

ご婦人は「遊びながら。いや、草に遊ばれながら。」草むしり。

ほのぼのとした気持ちになりました……。



どうなる!!

質疑 応答



委員
田村 馨

副委員長
森 弘秋

委員長
竹島 貴行

委員
杉田 雅史

総務教育

常任委員会

問 現在の学童保育室の今後の活用方法（使い方）方向性について

答 現在の学童保育室については、来年4月に現在の保育園に場所を移すことになるが、今後の活用方法については関係機関と協議し、最大限に有効活用できるように検討したい。

問 教育費、事務局費、学力向上プラン研究事業委託費250千円が計上されているが、この学力向上プラン研究事業とは具体的にどのようなものなのか

答 「確かな学力」の向上のための実践的な調査研究の実施。授業の改善、家庭や地域との連携、小中学校の継続的な学習指導の取り組みを行う。

問 舟橋村税条例の一部改正について。家庭的保育や居宅訪問保育や企業内保育として定員5人以下となっているが、保育児童は1人でも適用されるといふ解釈で良いか。



学童保育室

答 保育児童は1人でも適用されるといふことです。

問 緊急情報告知システム増設及び改修工事の成果について

答 これまで、聞き取れる範囲が村全域をカバーできていなかったが、今回の改修工事によって村の全エリアをカバーできることになった。



竹内地内に新設された防災スピーカー

副議長就任の挨拶



森 弘秋

このたび、議員各位から温かくご推挙いただき、再び副議長に就任することとなりました。身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しております。

今まで以上に、村民の皆様の「安全・安心」を守るため、一生懸命頑張ってゆきたいと考えます。

これからも、議長を補佐し、そして、村民の皆様のご指導・ご鞭撻をいただきながら、「開かれた議会」をめざし、「日本一小さな村」の発展のために尽くしてまいります。

昨今、議会は村民に見えないとよく言われておりますが、議会だよりを始め、本議会はもちろんのこと各委員会も公開をし、村民の皆様の傍聴を期待しております。しかし、開かれた議会はどこまでなのか？これも模索しながらより以上の開かれた議会をめざしてまいります。村民の皆様のお知恵をおかりしながら頑張ってまいりたいと考えます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

この施策は

産業厚生 常任委員会



問 農林水産業費、農業総務費、農業共同経営体支援事業補助金3,346千円、6次産業化推進事業費補助金3,300千円の積算根拠、事業内容及び箇所付けの説明を求めます。

答 経営体育成支援事業として、育苗ハウス整備、6条田植機の購入費の補助。6次産業化の推進事業としてトマト栽培施設整備に対する補助を実施するもの。

問 衛生費、予防費、子ども医療システム改修委託料562千円について、所得制限を全て撤廃するのにか？

答 所得制限は全て撤廃となります。

問 2015年12月定例会では「医療費助成制度の所得制限の撤廃は実施する予定はない」との事であったが、今回、所得制限を撤廃するに至った経緯は？

答 他市町の動向を見ながら検討した結果、村でも同

様に所得制限を撤廃することが望ましいと判断した。

問 乳幼児も所得制限の撤廃の適用範囲か？

答 乳幼児も同様に所得制限の撤廃の適用範囲になります。

問 高校卒業時まで子供医療費の拡充は実現できないか？

答 現時点では高校卒業時までの医療費の拡充は検討していない。

問 民生費、児童福祉総務費の認定こども園建設に係る総合管理業務委託料について、業者同士が調整しながら決められた契約工期で工事を履行すべきであり、このための調整監理委託を行うのは不適切と考える。

答 認定こども園の開園は来年4月と決まっております。技術職のいない村だけで監理を行うことが困難であることから調整監理が必要となる。

反対討論

平成29年度一般会計補正予算（第1号）

竹島貴行 議員

私は、「平成29年度予算舟橋村一般会計補正予算（第1号）の認定こども園建設に係る総合管理業務委託料2,430千円」は、否決すべきという考えで以下の討論を行いました。

来年4月認定こども園の開園に向け、工事が進んでいます。この工事の経緯は、敷地の埋蔵文化財発掘調査費が3月議会に追加議案として提案され、議会はこれを承認し、急ぎよ発掘調査が行われました。そして引き続き敷地造成が発注され工事が行われています。また、園舎の建築工事が認定こども園事業を運営する富山YMCA福祉会から発注され、工事が始まります。夫々の工事は当初計画通り進んでいると聞いていました。今後、前面道路も村から工事発注されます。ところが、この6月議会に急遽、総合管理業務委託費が補正計上されました。村では3つの工事が輻輳するため、建築・土木工事の調整を図る総合監理を外部委託したいと説明しています。しかし必要な業務であれば本来4月からの当初予算に組込むべきと考えます。産業厚生常任委員会では当案件は全会一致で承認可決されましたが、工事は予定通り進んでいる中で、この6月定例会に急遽補正を組み取って貴重な税金を投入してまで監理を外部委託する必要性があるのか納得できません。所管委員会外の議員として当案件は必要性なしと判断しました。議会は、行政の監視とチェック責任を負っており、その中の一人として当案件の予算補正は否決すべきと同僚議員に訴えました。

表彰

村議会議員として10年以上在職し
功労のあった方として、町村議会議
長会から2名表彰されました。
町村議会議長会・臨時総会
自治功労者



明和善一郎 議長

6月2日受賞

川崎 和夫 議員



6月議会 審議・採決結果

- 議案第20号 専決処分の承認を求める件 原案可決
- 議案第21号 平成29年度舟橋村一般会計補正予算(第1号) 原案可決
- 議案第22号 平成29年度舟橋村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 原案可決
- 議案第23号 舟橋村固定資産評価審査委員会委員選任の件 原案可決
- 議案第24号 舟橋村農業委員会委員任命の件 原案可決
- 議員提出議案第1号 精神障がい者に対する交通運賃割引の適用を求める意見書 ... 原案可決

6月15日に委員会組織
の再編がありましたので
お知らせいたします。

総務教育常任委員会

- 委員長 明和善一郎
- 副委員長 田村 馨
- 委員 前原 英石
- 委員 川崎 和夫

産業厚生常任委員会

- 委員長 森 弘秋
- 副委員長 杉田 雅史
- 委員 竹島 貴行
- 委員 吉川 孝弘

議会運営委員会

- 委員長 明和善一郎
- 副委員長 森 弘秋
- 委員 田村 馨

議会広報特別委員会

- 委員長 吉川 孝弘
- 副委員長 森 弘秋
- 委員 明和善一郎
- 委員 田村 馨

地方創生特別委員会

- 委員長 前原 英石
- 副委員長 竹島 貴行
- 委員 杉田 雅史
- 委員 吉川 孝弘

あとがき

カラ梅雨と思えば
大雨が降ったり。天気
予報の警報を見るた
びに自然の驚異を感
じますね。

今月号が出る頃
には第32回ふなはし祭
りが行われます。始め
は役場駐車場、駅前広
場、舟橋会館横広場と
変わってきました。

議会も少しずつ変
わりつつあります。今
月号から広報委員会
も新しいメンバーに
変わりました。村民と
共に歩んでいきたい
と思っています。

(吉川・記)

議会広報特別委員会

- 委員長 吉川孝弘
- 副委員長 森 弘秋
- 委員 明和善一郎
- 委員 田村 馨

議会・議会だよりに
ついて、みなさまの
ご意見・ご感想を
お寄せください。